

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年4月3日（土） 14時30分から16時
会 場	野方区民活動センター ギャラリーA・B
テ ー マ	中野区基本計画（素案）・中野区区有施設整備計画（素案）について
出席者 区 民	計29人
区 側	区長、企画部長、構造改革担当部長、子ども家庭支援担当部長、企画課長、基本構想担当課長、財政課長、北部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	有
手話通訳・要約筆記	無

区長あいさつ	
<p>本日は、基本計画・区有施設整備計画の素案に関する意見交換会である。3月に区議会での議決を経て、中野区において最上位に位置する基本構想を改定した。基本構想の中では、まちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げている。中野区では、人と人とがつながり、新たな価値を生み出していくことを大切にしたいと考えている。</p> <p>その基本構想を実現するための計画が、基本計画及び区有施設整備計画である。基本計画は、将来人口推計や財政見通しを踏まえ、区が取り組むことを体系的に示している。中野区の総人口は、2035年をピークに、その後は減少に転じる見通しである。また、高齢化が一層進展し、65歳以上の人口は増加傾向が続く。そうした中でも行政サービスを維持していく必要があると考えている。</p> <p>区有施設については、現在、築50年以上の建物が全体の約3割を占めるなど、老朽化してきている。子どもの数の減少に合わせて学校の統廃合を行ってきたことにより、学校数は減ったが、施設については老朽化している学校が多い。学校施設の建替え等については、未来ある子どもたちの施設であるため、最優先で行っていく必要があると考えている。ただ、学校だけでなく、これから更新する必要がある施設は多くあるが、財政見通しを考えると全てを更新することはできない。財政の見通しを立て、10年後を見据えた上で、長期的な視点も持って施設の更新を進めていきたい。</p> <p>本日は、区政に対して、皆さんが日頃感じていることについてのご意見などもいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>区議会の議事録の公開が遅いと感じる。動画でもよいので、早い公開をお願いしたい。</p>	<p>区議会事務局に伝える。</p>
<p>意見交換会は、大きく意見が反映される場ではないと感じる。例えば、こうした意見交換会のほかに積極的に意見交換ができる市民会議のようなものを開催してほしい。</p>	<p>素案を作成する前の段階において、区民に参加してもらえる仕組みを検討していきたい。</p>
<p>中野駅周辺に駐輪場が少ないと思う。そのため、放置自転車がが多い。駐輪場を増やして利便性を高めてほしい。</p>	<p>中野駅周辺は中心部への自転車の流入を抑制することで安全を確保し、歩行者優先の方針のもと、まちづくりを進めている。自転車駐車場はこれらを踏まえつつ、需要を考慮しながら再開発等とあわせて適切に整備していく。</p>
<p>区立幼稚園については、当分の間、現在の幼稚園運営を継続し、認定こども園について検討を続けるとのことだが、現在区立幼稚園で行われているアクティブラーニングやインクルーシブ教育は素晴らしいので、そうした教育を今後も残してほしい。他の自治体では認定こども園への転換がうまくいっていない例もあるので、慎重に検討してほしい。</p>	<p>区立幼稚園については、当分の間、現在の幼稚園運営を継続し、幼児教育の良さを残しつつ様々なライフスタイルに対応できる認定こども園について検討を続けていく。</p>
<p>青少年育成地区委員会の予算や、その他地域活動への補助金について、引率者への経費が算入できないことになっている。活動の活性化のためにも、引率者の経費も対象としてほしい。</p>	<p>政策助成や基金からの助成における交付対象経費については、助成対象とする活動を公益的な活動として実施するために必要な経費としている。引率者への経費について、一律に交付対象としないという規定はなく、その事業の実施に必要なかどうかを個別に判断している。</p>
<p>基本計画（素案）P.242にある「鉄道上部空間の活用」について、進め方はどうなっているのか。また、P.243にある「区画街路4号線」について、当初の計画どおり完了できるのか。当初の計画と変更があるようなら、丁寧に説明を行ってほしい。</p>	<p>連続立体交差事業により創出される鉄道上部空間の活用方法については、鉄道事業用地であることから、西武鉄道株式会社など関係機関と調整を図りながら検討を進めていく。</p> <p>区画街路4号線については、当初計画通りに進めている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>児童館には、子育てひろばという機能もある。以前、区では子育てひろばを24か所整備することとしていたと思うが、現在は、ほとんどが中部圏域となっている。新井の地域には子育てひろばがないので、新井薬師児童館に、子育てひろばも残してほしい。</p>	<p>児童館から機能転換を図る学童クラブ館については、子育てひろば事業を実施することを検討している。</p>
<p>学校再編が頻繁に行われており、分かりにくい。どの学校にいけば学校を変わずにすむか、保護者が悩んでいる。就学前の子どもを持つ保護者にとって、指定校変更などは分かりにくいので、分かりやすい周知をしてほしい。</p>	<p>様々な方法により分かりやすい周知を行っている。</p>
<p>子どもの居場所が少ないので、現在18館ある児童館を9館へ集約せずに、全館残してほしい。</p>	<p>今後、キッズ・プラザ、学童クラブ、児童館、中高生向け施設等の整備・再編や子育てひろば事業の充実などを進め、地域の中で安心して、子育て・子育てができるための環境を充実させていく。</p>
<p>「施策26 若者が地域や社会で活躍できる環境づくり」の現状はどうなっているのか。今後、どういったことをしていくのか。また、区が若者に期待することは何か。</p>	<p>現在、中高生に向けた事業としてハイティーン会議を実施するとともに、大学生については、区内の大学との連携を進めている。今後、若者に地域や社会と関わりを持ち、活躍してもらうため、社会を構成する重要な主体である若者の自立と活躍に向けた支援に積極的に取り組んでいく。</p>
<p>文化財保護審議会が非公開なのは、なぜか。</p>	<p>文化財保護審議会の会議においては、教育委員会の諮問並びに文化財の保存及び活用に関する内容が審議されるため、委員の公正かつ適切な意思形成がなされることが必要である。また、審議会を取り扱う情報は公開できない情報が多い。以上の理由から、当審議会の会議は非公開としている。</p>
<p>キッズ・プラザは、学校の敷地内にあり、親からすると良い面もあるが、低学年に限られていると感じる。中高学年になると、キッズ・プラザでの遊び方には限界があり、利用しない人が多い。児童館では、中高学年ものびのびと活動できている。中高学年向けの居場所を検討してほしい。また、西中野児童館を利用していた人は、廃止されると児童館が遠くなってしまう。例えば、西中野保育園の跡地に幅広い年代が使える複合施設を作してほしい。</p>	<p>児童館は、子育て支援拠点や地域見守り機能を強化した「新たな機能を備えた児童館」に移行する。今後、キッズ・プラザ、学童クラブ、児童館、中高生向け施設等の整備・再編や子育てひろば事業の充実などを進め、地域の中で安心して、子育て・子育てができるための環境を充実させていく。</p>
<p>学校における学習サポートのボランティア活動が有償となるよう、区がサポートしてほしい。</p>	<p>学校支援ボランティアの実態を把握し、コミュニティ・スクールと一体的に進めていく「地域学校協働活動」の検討の中で生かしていきたい。</p>
<p>区立小・中学校において、ハード面で様々な課題があると聞いているので、課題を取りまとめ、区立小・中学校の今後の建替等の際に生かして行ってほしい。</p>	<p>既に共用を開始している新校舎の運営状況等を十分に検証しながら、今後の新校舎整備に生かしていきたい。</p>
<p>保育園について、株式会社や他県の法人等、保育園の運営主体が多様化している中で、区立保育園が中心となって、区内の保育園等のつながりを作り、保育の質を担保してほしい。</p>	<p>区立保育園を一定数残すのは、保育の質を担保していくためでもあり、区立保育園では、他の模範になるような運営をしていきたい。また、保育の質の向上及び保育現場の活性化を図るため、保育施設同士が交流する仕組みについても更に充実していく。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>保育園を誘致するにあたって区の土地を売却したところもあるようだが、中野区にとって貴重な土地だと思うので、売却はしないでほしい。</p>	<p>原則、広い土地については、活用していく方針である。</p>
<p>若宮でも、防災まちづくりが始まると聞いた。若宮は、地震に関する総合危険度が高い地域であり、力をいれてほしい。</p>	<p>防災まちづくりにおけるオープンスペースについては、「施策42 防災まちづくりの推進」に記載している。また、若宮地区を含む木造住宅密集地域については、中野区地域防災計画において、オープンスペースの確保を図り、災害に強い都市基盤整備を推進することとしている。</p>
<p>中野駅でのベビーカー利用について、今後、新しい駅舎ができる際には、エレベーターが設置されると思うが、それまで不便である。JRと協議して今から改善してほしい。</p>	<p>中野駅の線路上空に新たにできる西口とあわせて、エレベーターが設置される計画である。ただ、現在の駅舎では設置が難しいとの回答をJRから得ている。</p>
<p>人口について、2035年以降に減少していくと推計されているが、こういった対策を考えているのか。</p>	<p>出生率の向上や子育て家庭の区内定住の促進を図るため、子育て先進区を目指し、子どもが健やかに育ち、子育てする上で必要な環境を総合的に整備していく。また、子育て家庭や若い世代などに地域のコミュニティに関わってもらい、中野に愛着を持ってもらうような取組も進めていきたい。</p>
<p>児童館がない地域では、支援が必要な子どもを発見し、支援につなげていく体制が不十分だと感じるので、強化してほしい。</p>	<p>すこやか福祉センター、小・中学校、保育園、幼稚園、児童館、子育てひろばなどが、地域で支援が必要な子どもを発見し、適切な支援につなげる役割を担っている。支援が必要な子どもたちが適切な支援につながるよう、体制を強化していく。</p>